

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 四半期連結損益計算書 第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書 第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災により落込んだ生産活動が復興需要等を背景として回復の兆しを見せ始めたものの、欧州の債務問題、長引く円高などが景気回復を鈍らせる要因となり、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループの事業概況といたしましては、「航空関連事業」・「メディア・ライフサービス事業」において、航空機部品などの販売が順調に推移しましたが、退役航空機取扱額や施設管理業務の減少などにより売上高は前年実績を下回りました。一方、利益面では海外連結子会社における事業改廃に伴う費用減などにより前年実績を上回る結果となりました。

「リテール事業」・「フーズ・ビバレッジ事業」においては、空港店舗関連や免税店向け卸売が旅客需要回復などにより好調に推移し売上高は前年実績を上回りました。一方、水産関連が低調に推移したことに加え、連結子会社の開業費用などが影響し、利益面では前年実績を下回る結果となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19,242百万円（対前年同期比98.2%）となりました。損益面では、営業利益90百万円（対前年同期比67.3%）、経常利益46百万円（対前年同期比66.4%）、四半期純利益29百万円となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成23年4～6月)	当第1四半期 (平成24年4～6月)	前期比 (%)	前期差
売上高	19,604	19,242	98.2	△361
営業利益	134	90	67.3	△44
経常利益	70	46	66.4	△23
四半期純利益	0	29	—	29

[セグメント別の概況]

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。なお、各業績数値は、グループ内セグメント間売上高及び振替高、配賦不能営業費用（管理部門の費用など）調整前の金額です。

① 航空関連事業

航空機関連では、航空機部品の販売は順調に推移したものの、退役航空機の取扱額が減少しました。機材・調達関連では、空港特殊車両の販売は堅調に推移しましたが、機内用品などの調達が低調に推移しました。一方、海外の連結子会社のJALUX AMERICAS, Inc.における事業改廃に伴う費用減により利益が増加しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高4,252百万円、営業利益227百万円と、それぞれ減収・増益となりました。

航空関連事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成23年4～6月)	当第1四半期 (平成24年4～6月)	前期比 (%)	前期差
売上高	4,491	4,252	94.7	△239
営業利益	169	227	134.2	57

② メディア・ライフサービス事業

保険関連では、一部法人需要の回復と*保険代理店BPO業務拡大などにより堅調に推移しました。不動産関連では、サブリース業務が堅調に推移しましたが、施設管理業務が減少しました。メディア関連では、前期第2四半期以降の一部取引形態の変更による減収に加えて印刷物などの調達が低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高2,475百万円、営業利益234百万円と、それぞれ減収・減益となりました。

*保険代理店BPO(Business Process Outsourcing)業務：個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務（契約手続きやコールセンター業務など）の一部を受託する事業

メディア・ ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成23年4～6月)	当第1四半期 (平成24年4～6月)	前期比 (%)	前期差
売上高	2,626	2,475	94.3	△150
営業利益	275	234	85.4	△40

③ リテール事業

空港店舗関連では、旅客需要回復などにより好調に推移し、ブランド・免税関連でも、免税店向け卸売が好調に推移しました。また通信販売関連では、インターネットサイトが堅調に推移しました。一方、贈答用食品関連では、デパートおよびコンビニエンスストア向けの販売において、売上面では好調に推移しましたが、利益面では費用増により低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高9,565百万円、営業利益131百万円と、増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成23年4～6月)	当第1四半期 (平成24年4～6月)	前期比 (%)	前期差
売上高	8,364	9,565	114.4	1,201
営業利益	△39	131	—	171

④ フーズ・ビバレッジ事業

ワイン関連では、高額ワインの需要回復などにより好調に推移し、農産関連では、輸入生花は母の日向け販売不振により低調でしたが、アスパラガス、ヤングコーンなどの西洋野菜や生鮮加工品の販売が堅調に推移しました。一方、水産関連は、市場環境の変化による販売不振などにより低調に推移しました。また連結子会社の日本エアポートデリカ株式会社における開業費用などにより利益が低下しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高3,072百万円、営業損失16百万円と、それぞれ減収・減益となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第1四半期 (平成23年4～6月)	当第1四半期 (平成24年4～6月)	前期比 (%)	前期差
売上高	4,229	3,072	72.6	△1,156
営業利益	213	△16	—	△230

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

航空機部品取引の大口の入金により売掛金が減少し、現金金は航空機部品取引の支払いや借入金の返済により減少しました。また、たな卸資産は、販売用土地や訓練用航空機を売却したことにより減少しました。

その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して4,246百万円減少し、29,456百万円になりました。

(負債)

航空機部品取引の仕入代金の支払いにより買掛金が減少し、また、返済により借入金も減少しました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して3,964百万円減少し、15,362百万円になりました。

(純資産)

四半期純利益を計上しましたが、剰余金の配当や自己株式の取得を行ったため、純資産は前連結会計年度末と比較して281百万円減少し、14,094百万円になりました。また、自己資本比率は5.1ポイント増加し、44.0%になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点において第2四半期連結業績予想および通期の業績予想の変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算方法）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,391,474	3,974,046
受取手形及び売掛金	9,615,259	6,778,092
たな卸資産	5,919,467	5,641,370
その他	3,148,931	3,467,723
貸倒引当金	△68,984	△71,923
流動資産合計	24,006,148	19,789,309
固定資産		
有形固定資産	5,118,360	5,064,930
無形固定資産	405,358	387,738
投資その他の資産	4,091,363	4,137,962
固定資産合計	9,615,082	9,590,632
繰延資産	81,698	76,451
資産合計	33,702,929	29,456,393
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,572,728	6,647,713
短期借入金	3,025,994	2,203,805
未払法人税等	286,390	102,367
未払費用	1,796,380	1,838,961
その他	3,045,764	2,219,539
流動負債合計	16,727,258	13,012,387
固定負債		
長期借入金	1,202,029	1,013,123
退職給付引当金	411,248	440,944
役員退職慰労引当金	33,225	8,105
その他	953,363	887,667
固定負債合計	2,599,866	2,349,840
負債合計	19,327,125	15,362,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	711,250	711,250
利益剰余金	10,811,239	10,649,785
自己株式	△68,191	△147,089
株主資本合計	14,012,848	13,772,496
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,685	△9,237
繰延ヘッジ損益	27,730	△3,412
為替換算調整勘定	△919,112	△792,837
その他の包括利益累計額合計	△899,067	△805,487
新株予約権	9,882	9,882
少数株主持分	1,252,141	1,117,274
純資産合計	14,375,804	14,094,165
負債純資産合計	33,702,929	29,456,393

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	19,604,205	19,242,636
売上原価	15,290,732	14,877,376
売上総利益	4,313,472	4,365,259
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	279,915	302,793
給料及び手当	1,487,073	1,451,713
退職給付費用	123,105	110,579
減価償却費	150,559	115,099
賃借料	721,613	791,832
役員退職慰労引当金繰入額	1,240	△3,860
その他	1,415,017	1,506,250
販売費及び一般管理費合計	4,178,525	4,274,408
営業利益	134,946	90,850
営業外収益		
受取利息	2,546	2,656
受取配当金	388	16,118
持分法による投資利益	—	29,342
為替差益	11,128	—
仲介手数料	4,702	—
その他	27,545	13,532
営業外収益合計	46,311	61,650
営業外費用		
支払利息	33,669	11,506
持分法による投資損失	46,341	—
為替差損	—	69,029
支払手数料	24,857	19,858
その他	5,997	5,340
営業外費用合計	110,866	105,734
経常利益	70,392	46,767
特別利益		
固定資産売却益	2,107	1,579
特別利益合計	2,107	1,579
特別損失		
固定資産処分損	14,484	2,271
投資有価証券評価損	10,080	—
その他	3,197	795
特別損失合計	27,761	3,067
税金等調整前四半期純利益	44,738	45,278
法人税等	40,131	96,098
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	4,607	△50,819
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,320	△80,293
四半期純利益	287	29,473

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	4,607	△50,819
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,353	△950
繰延ヘッジ損益	△16,503	△31,142
為替換算調整勘定	40,736	122,268
持分法適用会社に対する持分相当額	2,618	5,682
その他の包括利益合計	33,205	95,857
四半期包括利益	37,812	45,037
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,328	123,053
少数株主に係る四半期包括利益	7,483	△78,015

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空関連事業	メディア・ラ イフサービス 事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,491,726	2,579,658	8,358,920	4,173,899	19,604,205	—	19,604,205
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	46,502	5,374	55,530	107,479	△107,479	—
計	4,491,797	2,626,161	8,364,295	4,229,430	19,711,684	△107,479	19,604,205
セグメント利益又は損失(△)	169,648	275,284	△39,563	213,725	619,094	△484,147	134,946

(注) 1. セグメント利益の調整額△484,147千円には、セグメント間取引消去375千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△484,522千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空関連事業	メディア・ラ イフサービス 事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,226,129	2,434,646	9,562,310	3,019,549	19,242,636	—	19,242,636
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26,099	40,516	3,003	53,124	122,744	△122,744	—
計	4,252,228	2,475,163	9,565,314	3,072,673	19,365,380	△122,744	19,242,636
セグメント利益又は損失(△)	227,626	234,999	131,900	△16,912	577,614	△486,764	90,850

(注) 1. セグメント利益の調整額△486,764千円には、セグメント間取引消去△1,207千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△485,556千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。